



天気 [東京都 東京] 降水確率: 30%

設定

交通情報

現在、設定されていません

設定

トピックス

うめきた、にぎわう 華為、日本へ攻勢 たかじんさん、体調不良

サイト内検索

検索

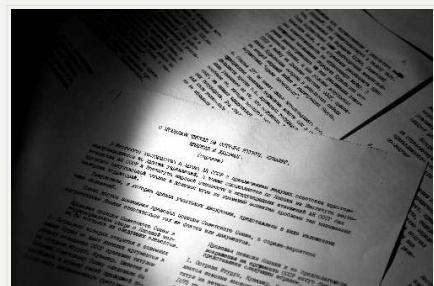
ニュース > 記事

2013年4月24日

おすすめ 9

BI 1

# ロシア主張、揺らぐ根拠 北方領土、旧ソ連の内部文書



北方領土の法的地位について検討した旧ソ連の文書 = 遠藤啓生撮影

北方四島領有の法的根拠について、旧ソ連のゴルバチョフ政権がひそかに作成していた文書の存在が明らかになった。「第2次世界大戦の結果、四島の領有権はロシアに移った」とするロシア政府の公式的な主張を大きく揺るがす内容だ。歯舞(はほまい)、色丹(しこたん)二島の引き渡しで決着をつけようという動きがロシア側から度々示されてきた背景も読み取れる。▼1面参照



文書作成で指導的役割を果たしたレイン・ミュルレルソン氏 = 大野正美撮影

## ■ゴルバチョフ氏「客観的分析を」

文書を見つけたレイン・ミュルレルソン元エストニア第1外務次官(69)によると、ゴルバチョフ大統領(当時)は日本訪問を控え、「戦争の結果、四島はソ連のものとなった。問題は存在しない」というソ連外務省のかたくなな立場に対し、飽きたらずにいた。「ソ連の主張の強さも弱さも知りたい。特に日本の主張で強い部分は客観的分析が必要だ」とも語ったという。



文書作成に参加したゲオルギー・クナーゼ元ソリア外務次官 = 大野正美撮影

こうして1990年秋にできた検討グループは、「国家と法研究所」副所長だったブラドレン・ベレシェチン氏(81)が責任者を務めた。後に国際司法裁判所(ICJ)の判事になった国際法の第一人者だ。

また、同研究所所長を長く務め、大統領の法律顧問にもなったウラジーミル・クドリャフツェフ科学アカデミー副総裁(故人)が政権とグループ間を調整した。同副総裁は、共産党一党支配脱却を目指すソ連憲法改正案づくりも手がけるなど、ペレストロイカ(改革)政策を進

めた大統領の側近の一人だった。

作業には、こうしたソ連の一流の法学者のほか、後に日本担当のロシア外務次官となったゲオルギー・クナーゼ氏(64)ら日本研究の専門家も動員された。

## ■「まず二島返還」幻の92年提案

ゴルバチョフ政権の文書は、当時のソ連の一級の法律専門家らが客観的な立場で作成した。それだけに、「歯舞、色丹で日本の領有根拠は極めて強く、国後(くなしり)、択捉(えとろふ)ではソ連の領有の法律手続きは完了していない」という結論は、四島領有の法的根拠として掛け値なしの相場観を示す。実際、戦後のソ連、ロシアの北方領土政策は、この相場観の範囲で揺れ動いてきた。

典型的な例が、92年3月にコーズイレフ・ロシア外相(当時)が訪日した際に、渡辺美智雄外相(同)に行った非公式提案だ。同行して提案を事実上用意したのは、日本担当の外務次

朝刊紙面 紙面にプラス

新聞宅配申し込み デジタル申し込み

最新の朝刊 紙面[東京]

2013年 05月 04日 土曜日

バックナンバー

- ▶ 05月03日(金) ▶ 05月02日(木)
- ▶ 05月01日(水) ▶ 04月30日(火)
- ▶ 04月29日(月) ▶ 04月28日(日)

月額980円で10,000本以上の映画やドラマが見放題

hulu

いまなら2週間 無料トライアル

PR 注目情報

みらSATO

プラウド船橋<最終街区>

一・二・三・五街区全1, 259戸

が即日完売! 最終街区いよいよ発表

参加型のランキング旅番組

豪華ケアンズ旅行をプレゼント

ソーシャルランキング → もっと見る

ツイッター フェイスブック

- 1 トイレ行かせず児童失禁 { 582 }
- 2 むだ毛処理、欧州男子の常識 { 348 }
- 3 日本マクドナルド売り上げ減 { 238 }

会員アンケート・特典 →

- ▶ 集まれ! アナウンサー志望者☆朝日就職フェア
- ▶ サッカーW杯最終予選のスタジアムツアーにご招待
- ▶ 朝日新聞特別写真展: キャッチコピー受賞作発表中

優秀作品決定!!!

朝日新聞 特別写真展

The Asahi Shimbun

松坂桃李 × ガッツ石松

PHOTO by SHODA MASAHIRO

注目コンテンツ ご案内

ショッピング →

村上春樹 × 小澤征爾

ふたりが語った音楽を聴く

ブック・アサヒ・コム

村上春樹と小澤征爾の音楽観

彼らが聴いた音楽CDが人気

官だったクナーゼ氏だった。

同氏によると、提案は(1)56年の日ソ共同宣言に従って歯舞、色丹を日本に引き渡すため、市民の移住、施設の賠償、漁業権、島の非軍事化などの問題を日本と協議する(2)この協議で合意後、平和条約を結んで歯舞、色丹を日本に引き渡す(3)二島を引き渡した結果、2国間関係が質的に成長すれば、国後、択捉で交渉を始める、との内容だった。

クナーゼ氏は、この提案の内容に沿った領土問題の打開を、92年9月に訪口した渡辺氏にもじかに働きかけた。だが渡辺氏が、この訪口中に当時のエリツィン大統領に「四島の主権が日本に属することを勇気をもって決断してほしい」と迫ったため、大統領が激怒。同月の大統領訪日も延期となり、ロシア側の提案も立ち消えになったという。

クナーゼ氏は、「歯舞、色丹の引き渡しがいま進んで国民の支持を得れば、国後、択捉の帰属の問題を話す環境ができる」と語っている。国後、択捉の交渉を始めた場合の結果については、「うまくいけば両島も日本のものとなる。日本がへたをすれば、ロシアのもので残る」との当時の見通しを説明した。

### ■国後・択捉「両者の主張に弱さ」

政権基盤がすでに弱体化していたゴルバチョフ政権は、ICJ付託などを含むこの文書の検討結果をほとんど生かせず、1年後に退陣した。だが、その内容は、検討に参加したクナーゼ氏がロシア外務次官となり、92年の提案を準備したことなどで間接的にロシアの政策にも反映された。同氏は93年ごろ、非公式の場で領土問題のICJ付託を日本側に打診したが、拒否されたという。

一方、日本も北方領土問題の打開で、ICJを使おうと試みたことがある。72年10月、大平正芳外相(当時)がソ連を訪問し、グロムイコ外相(同)に提案した。これに先立ち、グロムイコ氏は、日ソ共同宣言の歯舞、色丹二島引き渡し条項を軸に領土問題の打開策を提案したが、日本側に拒否されていた。その後、ソ連が領土問題の存在自体を否定し続けて交渉が行き詰まり、大平氏がICJを使って打開を狙ったのだ。結局、このときはソ連側に拒否された。

その後も、ICJは検討された。昨年8月の李明博・韓国大統領による竹島訪問後、日本政府は韓国側に竹島の帰属問題についてICJに共同提訴を提案した。日本外務省筋によると、その後、外務省内で北方領土をICJが審査した場合を想定した分析が行われた。結果は、歯舞、色丹では日本は絶対に負けないが、国後、択捉では日本とロシアの主張のそれぞれに弱さもあり、読み切れない部分が多かったという。

これは、ゴルバチョフ政権の文書を作成したグループが、四島問題をICJが審査した場合の判決について、「色丹、歯舞は日本に属すべきだ。択捉、国後でソ連の立場は強いが、絶対的な明白さはなかった」とした分析結果とも符合する。

当時、作業に関わったアレクサンドル・チャールイ元ウクライナ第1外務次官(59)は、ICJ判決の分析結果を「90年当時は、あくまで国際法に基づいて検討したため」と説明する。

その後、日ソ両国は93年の東京宣言で「法と正義に基づいて」四島の帰属の問題を解決することで合意した。四島の問題にはソ連が中立条約を破棄して戦争を始めたことなど、「正義」の側面が密接に絡んでいるため、「もしICJが『法』に加えて『正義』にも基づいて審議すれば、より日本に有利な判決が予想される」と同氏は見る。

(機動特派員・大野正美)

### ■ゴルバチョフ政権作成文書の要旨

#### 【ヤルタ協定】

〈ソ連の立場〉協定によりソ連は、クリル諸島(千島列島)の引き渡しを受ける権利を得た。

〈日本の立場〉日本に協定は拘束力を持たない。

〈論評〉協定は、ソ連にクリル諸島領有の法的根拠を提供しなかった。誰に引き渡すべきかは明確に示している。

【&M】

小川フミオのモーターカー

真価を発揮する「ボルボ」



【&w】

お山の大将が群れなして…

「美しい国」守りたい風景35



Astand

オリンピック損失隠し事件

ライブドアより酌むべき事情?



上智大学 フランシスコ新教皇の教えを体現する

「アイアンマン3」 工藤公康が語る男の美学

宮部みゆき特集 朝日新聞朝刊連載小説「荒神」

デビュー1周年 アルファ ロメオ ジュリエッタ

空き時間を学びの時間に 通信制特集

大学受験情報 大学の最新の取り組みは?

新築マンションの情報が満載! SUUMO[無料]

「Re:SOURCE」: 企業が生成するメディア

朝日転職情報

就活朝日2014

### 動画 →

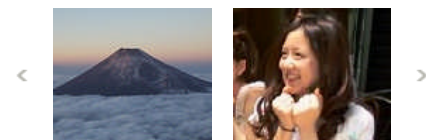


ホワイトタイガーの赤ちゃん4頭

鴨川をどり、京に初夏

### 写真 →

フォトギャラリー | 写真地球儀



富士山、世界遺産へ

パジャマ姿の女子大生がダンス



### PR 比べてお得!

- ▶ プロバイダー比較はこちら
- ▶ 引越し見積もりはこちら
- ▶ お買い物はこちら
- ▶ 本の購入はこちら

## 【ポツダム宣言】

〈ソ連の立場〉連合国は日本の領土の処分権を確保した。

〈日本の立場〉クリル諸島を日本は正当な方法で獲得し、カイロ宣言でいう日本が失うべき領土に当たらない。

## 【サンフランシスコ講和条約】

〈ソ連の立場〉ヤルタ協定とポツダム宣言の実行などで生じた情勢を確認した。

〈日本の立場〉色丹、歯舞両島は北海道の一部だ。日露通好条約などでクリル諸島はウルップ島とそれより北の列島の諸島に含められた。四島領有の法的根拠は講和条約に害されなかった。

〈論評〉日本が講和条約でクリル諸島を放棄したことは、ソ連の立場を有利とする最も重要な論拠だ。択捉、国後がクリル諸島の構成には入らないとする日本側の主張は、説得力に欠く。歯舞、色丹での日本の主張は説得的だ。

## 【日ソ共同宣言】

〈ソ連の立場〉ソ連は、歯舞、色丹両島の日本引き渡しに同意したが、ソ連は、新日米安全保障条約締結を根拠に、領土問題は解決済みと表明した。

〈日本の立場〉ソ連の一方的行為を合法化する情勢の変化はなかった。歯舞、色丹の引き渡し義務は有効。

〈論評〉日本の立場は極めて説得的。

【結論】四島に関して日ソ間に紛争が存在する。

択捉、国後両島でソ連の法的論拠はより有力だが、法的手続きは未完了。択捉、国後がサンフランシスコ講和条約で日本が放棄した「クリル諸島」の概念に入らないことを日本側が証明するのは大変に困難。

色丹、歯舞両島は「クリル諸島」の概念には入らない。日ソ共同宣言でソ連は、歯舞、色丹を日本に引き渡す義務を負った。

紛争は国際司法裁判所の審査対象になりえる。

## 関連記事

レコメンドシステムによる自動選択

- ▶ 領土交渉加速で一致 日ロ首脳、経済協力でこに (4/30)
- ▶ WORLD／「色丹はロシア」進む愛国教育 北方領土、かつては親日 (4/26)
- ▶ 「色丹はロシア」進む愛国教育 北方領土、かつては親日 (4/26)
- ▶ WORLD／「歯舞と色丹、返還義務」 ゴルバチョフ政権内部文書 ロシア政府主張と矛盾 (4/24)
- ▶ 「北方領土四島の法的根拠について」 入手した文書全文 (4/24)
- ▶ 「歯舞と色丹、返還義務」 ゴルバチョフ政権内部文書 ロシア政府主張と矛盾 (4/24)
- ▶ 「歯舞・色丹は返還義務」 旧ソ連政権の内部文書を入手 (4/24)
- ▶ 北方四島、晴れぬ視界 経緯を振り返る (4/23)

## 関連記事(国際面掲載)

- ▶ ロシア主張、揺らぐ根拠 北方領土、旧ソ連の内部文書
- ▶ (特派員メモ 上海)連なる社会のひずみ
- ▶ (ニュースの単語帳) dragnet

朝日新聞デジタルトップ

北方領土問題 | 旧ソ連 | ベレストロイカ | 日露通好条約 | カイロ宣言

検索

## おすすめ

HPのトップ | 朝日新聞 | 朝日新聞のページ | 朝日新聞のページ | 朝日新聞のページ